



## 天皇杯・皇后杯 8位入賞が確定！

最終日の陸上競技4種目を残し、平成27年和歌山国体以来3年ぶりの天皇杯8位入賞、平成25年東京国体以来5年ぶり皇后杯8位入賞が確定した。

天皇杯争いでは9位の北海道の動向が、皇后杯争いでは9位の兵庫県の動向が気になるところであるが、9日最終日の陸上競技の種目を考えると、8日終了時点で、それぞれの最終順位が確定した。

鹿児島県での九州ブロック大会における「本国体代表権獲得数の少なさ」や「代表権獲得順位の低さ」などからすると、ここまでの結果は予測しづらかったと言える。

詳しい国体戦績の分析については、11月13日に開催される『第73回国体解団式』の折に、話をさせていただくが、多くの競技団体の中・長期的強化方策や当年度強化が成功し、多くの選手たちがしっかりと力を発揮することができたことは言うまでもない。

県選手強化推進実行委員会としては、天皇杯における9位北海道との「約60点差」、皇后杯における9位兵庫県との「1点差」の持つ価値やその要因等についても多角的に分析し、全ての競技団体の今後の普及・強化活動にほんの少しでもアイデアにつながるものを見いだしていきたいと考える。

男女総合成績順位【天皇杯】

順位	都道府県名	獲得点
1	福井県	2888.0
2	東京都	2224.0
3	大阪府	1872.0
4	埼玉県	1812.5
5	千葉県	1701.5
6	愛知県	1686.5
7	神奈川県	1611.0
8	福岡県	1463.0
9	北海道	1401.25
10	兵庫県	1312.5

女子総合成績順位【皇后杯】

順位	都道府県名	獲得点
1	福井県	1462.5
2	東京都	1272.5
3	大阪府	1041.0
4	愛知県	1007.0
5	埼玉県	956.5
6	神奈川県	884.0
7	千葉県	830.0
8	福岡県	815.0
9	兵庫県	814.0
10	愛媛県	763.0

\*ともに10月8日終了時点

## バスケット・ラグビーが 競技別天皇杯獲得！



競技別男女総合成績で8位入賞を果たしたのは、12団体であった。そのうち、バスケットボールとラグビーフットボールが競技別天皇杯を獲得した。剣道と自転車は2位につけた。

12団体のうち、昨年度の愛媛国体から大きく獲得点を伸ばしたのは、バスケットボール・柔道・ボウリング・セーリング・クレー射撃・ソフトボールであった。

競技別男女総合成績で入賞した競技

競技名	順位	参加点	競技得点	獲得点	H29
バスケットボール	1	10	122.5	132.5	72.5
ラグビー	1	10	86	96	108
剣道	2	10	70	80	75
自転車	2	10	67	77	91
柔道	4	10	52.5	62.5	47.5
ボウリング	4	10	55	65	31
セーリング	5	10	40	50	38
卓球	5	10	39	49	41.5
ゴルフ	6	10	18	28	28
クレー射撃	7	10	15	25	10
◆ 陸上	7	10	64	74	81
ソフトボール	8	10	44	54	30

◆ 陸上については、8日までの得点を計算

